

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

心臓 MRI 画像を用いた心外膜脂肪と右室壁運動の関連性

1. 研究の対象および研究対象期間

2017年1月1日から2022年12月31日までに昭和大学藤が丘病院循環器内科において心臓MRIを行なった患者さんを対象とします。

2. 研究目的・方法

心外膜下脂肪組織(epicardial adipose tissue:以下EAT)は、心臓と冠状動脈を覆う特殊な種類の内臓脂肪であり、様々な炎症性サイトカインが放出されるため、隣接した心筋や冠動脈に影響を及ぼすとの報告がある。しかし、MRI画像を用いたEAT厚と心室の壁運動や右室機能との関連性を示した報告はないです。

心臓MRI画像を用いてEAT厚と右室機能の関連性について検討を行います。右室心係数には正常、異常の基準がないため、超音波より求めることができる三尖弁輪収縮期移動距離(Tricuspid annular plane systolic excursion:以下TAPSE)を用いて、右室心係数とTAPSEの関係を調査します。TAPSEの基準値より大きい正常群と右室機能異常群に分け、ROC解析を用いて右室心係数のカットオフ値を算出します。次に、心臓MRI画像の四腔像を用いてEAT厚の測定を行ないます。測定箇所は、左房室間溝、心尖部、右房室間溝の3箇所で行い、3箇所の合計をEAT厚値とします。測定により得られたEAT厚値と右室心係数の関係について調査を行ないます。右室心係数のカットオフ値を用いて正常群と右室機能異常群に分け、ROC解析を用いてEAT厚値のカットオフ値を算出します。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2024年 10月 1日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者背景(年齢、性別、身長、体重、診断病名、既往歴、現病歴、併用薬)および臨床検査画像(心臓MRI、超音波検査)

5．外部への試料・情報の提供

該当致しません。

6．研究組織

研究責任者 昭和大学藤が丘病院放射線技術部 池田裕亮

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院

氏名：池田 裕亮

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号： 045-974-6230